



## 校長先生の挑戦 10: 世の中の一人としてできること

1月9日の始業式では、「世の中の一人としてできること」と題して、SDGs についての話をしました。

【サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ】

(持続可能な開発目標)では、地球上の誰一人取り残さないことをスローガンに、「①貧困をなくそう」「②飢餓をゼロに」といった、主に発展途上国において深刻度が高い問題から、「⑫つくる責任つかう責任」「⑬気候変動



に具体的な対策を」などの、主に先進国において早急な取組や対応が求められる問題まで、全部で17の目標(169のターゲット)が掲げられています。

今回は、6年生が図工で取り組んだ「鋳造によるアルミ缶再生作品づくり」に関わって、地球環境に関連する「⑬気候変動に具体的な対策を」「⑭海の豊かさを守ろう」の2つを取り上げて話をしました。ユニセフのホームページから動画を2つ、1つは、マラウイの母子が幸せそうに畑に水撒きをする様子から始まる動画です。赤ちゃんだった女の子が成長しながら水撒きを続ける様子と、工場から立ち上る煙や温暖化による環境の変化とが交互に映し出され、最後には、乾ききって何も育たなくなった畑に座り込む彼女と、その傍らで小さな植物の残骸を拾い上げる彼女の赤ちゃんの姿で終わります。もう1つの動画では、まず、プラスチック製品を大量生産する工場が映し出されます。そして、それらがゴミとなって美しい南の島を覆いつくす様子、信じられないようなプラスチックゴミの山の中で語りかけるジャーナリストの姿へと続きます。その後、世界遺産オーストラリアのロードハウ島の美しい浜辺を歩く女性科学者の姿へと場面が切り替わり、彼女はそこで一羽の海鳥の死骸を見つけます。動画はその後も続くのですが、子どもたちに見せたのはそこまで。その後、動画では、女性科学者が海鳥の体の中から200を超えるプラスチック片を取り出します。人間の体重に換算すると実にピザ12枚分ものプラスチック片を飲み込んで、死んでしまったようです。ショッキングなこの後半部分は、動画ではなく、言葉で説明しました。

環境問題に大いに翻弄されているこの母子や海鳥には何の落ち度もありません。しかし、遠く離れた日本に住む私たちに何も関係がないかというと、それは甚だ疑問です。日本人は、この母子より確実に多くのCO<sub>2</sub>を排出し、海鳥の中の欠片の1つが、自分が出したものではないという確証もありません。知って、感じて、考えて、行動する。  
●「地球の味方」、そして、「ありたい自分」となるために。

みんなの地球を守るために

しって	<input checked="" type="checkbox"/>	
かんじて	<input checked="" type="checkbox"/>	
かんがえて	<input checked="" type="checkbox"/>	
こうどうする	<input type="checkbox"/>	

ありたい じぶん

## 歳末助け合い運動での素敵な出来事

昨年末、赤い羽根共同募金にあわせて、本校でも歳末助け合い運動に取り組み、1週間ほどの期間、朝の登校時間を使って、係の子どもたちが呼びかけを行いました。そんなある日、私が、いつものように校門で挨拶をしていると、普段は、中平野交差点で子どもたちの見守りをしてくださっている時吉さんが、ふらりと来校されました。話を聞くと「5年生の亨丞さんが、この数日、いつもより早く登校しているの、その理由を尋ねたら、募金活動をしていると聞いたので、自分も募金に来ました。」とのことでした。頑張る子どもたちへの素敵なエール。



知って、感じて、考えて、行動するその姿は、まさに「子どもたちの味方」です。

## トライ&チャレンジ 夢に向かって！



1月18日に、日南市子どもの声を聴く会が開催されました。市内の各小中学校から代表児童生徒が参加し、「将来の夢」や、「今、考えていること」などを発表しました。

本校からは、6年生の湯浅久麗さんが「トライ&チャレンジ 夢に向かって！」というタイトルで発表しました。運動会の団長など、様々なトライを重ね、自分の夢を目指していきたいという思いを堂々と発表してくれました。

## アルミ缶から作品（鋳造）できました。

1月19日の図工の時間に、6年生は、アルミニウム鋳造による作品づくりに挑戦しました。粘土でつくった原型から石膏で型を取り、石膏が固まったら、型から粘土を掻き出し、十分に乾燥させた後、風を送って火力を上げた七輪でアルミ缶を溶かし、流し込みました。

原料であるボーキサイトから、アルミニウムを精製する際には大きなエネルギーが必要だそうですが、一旦、アルミニウムとなったものを溶かして再利用すると、その5%のエネルギーで済むそ



うです。アルミニウムの再利用は、限りある資源の有効活用であると同時に、作りだすためのエネルギーの削減にもつながります。アルミニウムは、リサイクルコストが極めて低く、リサイクルの優等生とも呼ばれています。鋳造という特殊な技法と、自分の手でリサイクルを実現するというちょっと珍しい体験が、子どもたちの心に何らかの思いを残してくれることを期待しています。

## 持久走、苦しくても、頑張りました。

1月26日に持久走記録会が開催されました。当日は、同じ距離をいかに早く走れるかではなく、同じ時間でいかに長い距離を走れるかを競い合いました。

子どもたちは、12月から、体育の授業や朝の時間を使って持久走に取り組んで来ました。朝の時間には、私も子どもたちと一緒に走りました。走り出すとすぐに息が切れ、全く余裕はないのですが、一緒に走っていると、前を走る子どもから聞こえてくる荒い息遣いや、後ろから私を抜き去っていく軽やかな足音が、とても愛おしく感じられます。それは、共に



苦しい思いをしているからこそなのかもしれません。子どもたち一人一人が、自分のペースで、自分の弱さと闘いながら、前を向いて一步一步足を踏み出していく。その一番近くで、私たち教師も、自分自身の課題と向き合い、心臓バクバクになりながら、共に足を踏み出している。学校とはそんな素敵なおところだと思っています。

## 2月の行事予定

2月 1日	全校集会・校外学習（6年）	2月13日	油津小との交流（6年）
2月 2日	新入児保護者説明会	2月15・20日	クラブ活動
2月 5日	租税教室（6年）	2月17日	家庭教育学級
2月 8日	いきいきサロン（3年）	2月22日	参観日

